

## 庁舎機能再編の比較試算について

◎ 2庁舎併用とする場合の条件を、次のとおり仮定した。

- ・ H32年度から2庁舎体制を開始する。
- ・ 既存4庁舎のうち、耐用年数の到来までが最も長い福光庁舎を、耐用年数まで使用する。
- ・ 2庁舎体制の期間は、既存4庁舎のうち、耐用年数の到来が最も早い福野庁舎の耐用年数に合わせ、H37年度までとする。
- ・ H38年度以降は、福光庁舎のみの使用とし、1庁舎体制とする。
- ・ 城端、井波、福野庁舎の改修は行わない。福光庁舎で必要最低限の初期投資を、H31年度に行う。

各部局の配置イメージ

福光 庁舎	議会事務局、 市長政策部、 市民協働部、 会計課、 監査委員事務局、 教育委員会事務局
城端、 井波、 福野の いずれか の 庁舎	ブランド戦略部、 農業委員会事務局、 ふるさと整備部

福光庁舎に係る整備の時期と内容

	本館	別館
初期投資 (H31年度)	駐車場整備(用地 費等を含む)	耐震改修
H37年度 までに	内装改修、 屋上防水、 外壁改修、 空調改修、 車庫、 駐車場整備(用地 費等を含む)	内装改修、 屋上防水、 外壁改修、 空調改修

## ライフサイクルコスト(LCC)の推移

(単位:百万円)

	2庁舎併用パターン			福光庁舎 単独活用 試算
	城端・福光 庁舎 併用試算	井波・福光 庁舎 併用試算	福野・福光 庁舎 併用試算	
初期投資 (H31年度)	200	200	200	970
H37年度まで	1,319	1,416	1,417	1,192
10年目まで (H41年度)	1,415	1,511	1,512	1,287
20年目まで (H51年度)	1,820	1,916	1,918	1,693
29年目まで (H60年度)	4,246	4,342	4,344	4,119

※ 29年目とは、福光庁舎が耐用年数を迎える年であることから、建替費用も含んでいる。